



平成 26 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 ダイトエレクトロン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 前 績 行
 (コード番号 7609 東証第1部)
 問 合 せ 先 上席執行役員 管理本部長 福嶋 圭一
 (TEL. 06-6399-5041)

(訂正) 平成 25 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部修正について

当社は、平成 25 年 11 月 1 日に公表いたしました「平成 25 年 12 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、セグメント情報の一部において集計誤りが判明し、訂正がありましたので下記のとおりお知らせします。

なお、数値データについては、訂正はありません。

記

訂正箇所については下線を付して表示しております。

【訂正箇所】

(セグメント情報)

Ⅱ 当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 1 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

<訂正前>

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	16,654,664	4,684,708	1,703,401	3,053,832	26,096,607	—	26,096,607
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>730,412</u>	<u>443,523</u>	2,950,602	64,643	<u>4,189,182</u>	<u>△4,189,182</u>	—
計	<u>17,385,077</u>	<u>5,128,232</u>	4,654,004	3,118,475	<u>30,285,789</u>	<u>△4,189,182</u>	26,096,607
セグメント利益 又は損失 (△)	151,492	△158,717	9,849	72,648	75,273	△63,302	11,971

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△63,302 千円には、セグメント間取引消去 51,436 千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,738 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失 (△) と調整を行っております。

<訂正後>

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	16,654,664	4,684,708	1,703,401	3,053,832	26,096,607	—	26,096,607
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>627,391</u>	<u>138,331</u>	2,950,602	64,643	<u>3,780,968</u>	<u>△3,780,968</u>	—
計	<u>17,282,056</u>	<u>4,823,040</u>	4,654,004	3,118,475	<u>29,877,576</u>	<u>△3,780,968</u>	26,096,607
セグメント利益 又は損失 (△)	151,492	△158,717	9,849	72,648	75,273	△63,302	11,971

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△63,302千円には、セグメント間取引消去51,436千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,738千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。なお、第1四半期連結会計期間より、全社費用の範囲について、報告セグメントの損益をより適正に評価管理するための見直しを行った結果、従来の方法によった場合に比べて、「電子機器及び部品」のセグメント利益は125,039千円減少、「製造装置」のセグメント損失は33,841千円増加しております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失 (△) と調整を行っております。

以上